

syngenta®

Sustainability priorities



<https://www.syngenta.com/sustainability>

シンジェンタは持続可能性を戦略の中核として取り組んでおり、SDGsに貢献しています。

木部処理剤

防蟻・防腐・防カビ

フロアブル剤



なごみが支える 快適な住まい



 **アルトリセット® 和**
100SC

syngenta®

PLINAZOLIN® technology

木部処理剤 防蟻・防腐・防カビ剤



- ◇ 包装：200mL/本
- ◇ 有効成分：プリナゾリン（一般名イソシクロセラム） 1.0 w/w %
ヘキサコナゾール 30.0 w/w %
フルジオキシニル 5.0 w/w %
- ◇ 剤 型：フロアブル剤
- ◇ 性 状：水和性粘稠懸濁液体

- **なごみの特長**
 - ① 水ベースのフロアブル剤：におわない&低揮発性
 - ② 新規殺虫成分「プリナゾリン®（イソシクロセラム）」：少量で大きな効果
 - ③ 2つの殺菌成分「ヘキサコナゾール」&「フルジオキシニル」：Wパワーでカビと腐朽菌を広範囲防除
 - ④ 業界最小・最軽量ボトル¹⁾：運搬・保管・廃棄、すべてが楽々
 - ⑤ 食品衛生管理の国際的手法であるHACCP認証を取得：食の安全を守る成分で、我が家も守る

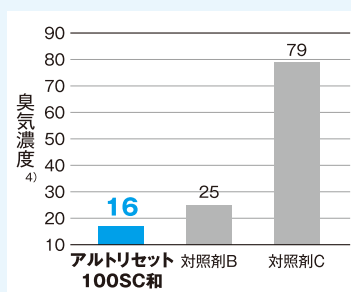
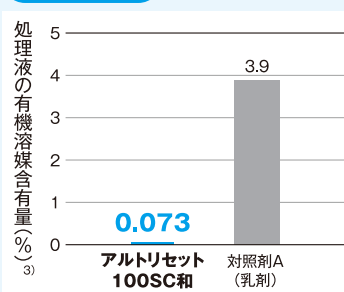
1) 2025年3月現在

- **使用方法** 薬剤をよく振り混ぜてから、下記希釈表に従い、水で規定の倍率に希釈して施工してください。

処理場所	処理方法	希釈倍率	散布量
木部表面	吹付処理 又は 塗布処理	100倍（原液200mLで20Lの希釈液を調整）	300mL/m ²

■ 性能

超低臭性



試験機関：株式会社化学分析コンサルタント

フロアブル製剤だから 有機溶媒98%カット²⁾ においも大幅ダウン

【試験方法】1m³チャンバー内のトレイ上にアルトリセット100SC和の100倍希釈液を300mL/m²処理し、1時間静置後チャンバー内の空気採取した。その後、臭気判定士による臭気濃度⁴⁾測定を実施した。

- 2) 弊社乳剤と比較。
- 3) 水以外の液状成分を有機溶媒として、処理液における含有量を算出した。
- 4) 臭気濃度：においの広がりやすさ（広播性）に着目した臭気の数値化方法。「におわなくなるまでの希釈倍数」を統計的に数値化している。アルトリセット100SC和を散布後に採取した空気は16倍に希釈するとにおいが感知できなくなることを示している。

低揮発性

プリナゾリン（イソシクロセラム）：蒸気圧 < 6.2×10⁻⁶ Pa (25℃)、定量限界 1×10⁻⁷ mg/L
ヘキサコナゾール：蒸気圧 1.8×10⁻⁵ Pa (20℃)、定量限界 1×10⁻⁷ mg/L
フルジオキシニル：蒸気圧 3.9×10⁻⁷ Pa (25℃)、定量限界 1×10⁻⁷ mg/L

測定地点	処理1時間後	処理3時間後	処理6時間後	処理24時間後
床下	定量限界以下	定量限界以下	定量限界以下	定量限界以下
床上20cm	定量限界以下	定量限界以下	定量限界以下	定量限界以下
床上150cm	定量限界以下	定量限界以下	定量限界以下	定量限界以下
通気口付近	定量限界以下	定量限界以下	定量限界以下	定量限界以下

試験機関：株式会社化学分析コンサルタント

処理1時間後でも 空気中に残らない

【試験方法】住宅床下の木部一面にアルトリセット100SC和の100倍希釈液を、300mL/m²で処理した。処理1、3、6、24時間後に各測定地点において100Lの空気採取し、空気中の有効成分濃度を測定して、有効成分の気中濃度を分析した。

確かな効果

- 非忌避性なので、殺虫成分がシロアリの巣まで持ち帰られる（伝播性）ことで、シロアリ根絶に期待できます。
- 2種類の殺菌成分によって、木材を腐朽させる様々な菌類に対して高い殺菌効果を発揮します。
- クロアリやムカデに対しても高い殺虫効果が期待できます。

信頼できる安全性

- シックハウス症候群関連物質（VOC13）を含有していません。
- 毒物および劇物取締法の「毒物」および「劇物」のどちらにも該当していません。
- 消防法上の「危険物」にも該当していません。
- 本製品は国際的に認められた食品安全管理システムであるHACCP認証を取得しております。



1. 使用前に必ずラベルをよく読んでください。
2. 用法・用量を遵守し、必要量だけ調製して使い切ってください。
3. 養魚池・井戸・地下水等の汚染の恐れのある場所、蜜蜂・蚕・水棲生物等被害を及ぼす恐れのある場所では使用しないでください。
4. 体調のすぐれない人・妊婦・乳幼児等に影響がないよう施工方法に配慮してください。
5. 食品・食器・家財・動植物等に薬剤がかからないよう十分に注意してください。
6. 食品やその調理および保管場所など食品にかかわる場所（動物用も含む）の近くで、本剤を処理しないでください。
7. 必要な場合のみ散布を実施してください。むやみな使用をお控えください。

シンジェンタ ジャパン株式会社

プロフェッショナル ソリューション事業本部

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワー X21階
TEL: 03-6221-3802 FAX: 03-6221-3899 www.syntenta.com

®はシンジェンタ社の登録商標です。



シンジェンタは持続可能性を戦略の中核として取り組んでおり、SDGsに貢献しています。

Sustainability priorities



<https://www.syngenta.com/sustainability>

お問い合わせ/
製品情報はこちら



この印刷物の内容は2025年4月現在のものです。2025年4月作成